

## 企画提案書

## 1 団体紹介

次郎長翁を知る会は、清水次郎長が船宿「末廣」の一室で亡くなった明治26年から100年となる平成4年、次郎長の人間像を探り、残した功績を後世に伝えようという思いから、鈴木与平氏（鈴与）、佐々木哲雄氏（清水銀行）、後藤磯吉氏（はごろもフーズ）が発起人となり、会長に竹内宏氏（長銀総研）を迎え、当時の清水市の有志256人（法人会員68社、個人会員188人）で設立した団体です。

この間、調査研究や講座の開催などの活動を続け、この過程で徳川慶喜公と次郎長にスポットが当たったことで清水港船宿記念館「末廣」の復元が実現し、また、諸田玲子氏の「波止場浪漫」の執筆にも協力してきました。

しかし34年を経て高齢化により会員の減少が進み、現在の会員は73人（法人会員17社、個人会員56人）となっており、郷土の歴史を次の世代に継承していくという会の設立趣旨が果たせなくなりつつあります。

## 2 プロジェクト名

清水次郎長の本当の姿を知ってもらいたい！

## 3 実施理由・背景

昭和の映画やドラマに登場する清水次郎長は人情に厚く男気あふれるアウトローとして描かれ、世間ではこのイメージが定着していますが、次郎長本人の生涯を見たとき、この前半の人生は一面でしかありません。

明治維新を境に考えを180度転換し、清水港の開港やその発展、地域（お茶処静岡）の開墾事業、子どもたちへの教育など、地域貢献や社会事業に献身した後半生はあまり知られていませんが、この後半生こそが次郎長の真の人生であり、もっとスポットを当て、多くの人々に知ってもらうべきであり、また全国に誇ることでできる郷土の歴史でもあります。

静岡市の偉人である次郎長の真の人間像を多くの人たち、特に子どもたちに知ってもらい、市民の皆さんに地域への誇りを持ってもらいたいと考えています。

そのためには、今後も次郎長や次郎長と関わった人々の調査や研究をつづけるとともに、その結果を多くの人にわかりやすく伝えることが重要です。

## 4 プロジェクト内容説明・スケジュール

このプロジェクトは、ふるさと応援寄附金の資金を得て、次郎長に関する学術的な調査・研究を進めていくとともに、清水港船宿記念館「末廣」や歴史博物館などで展示会や講演会、子ども教室などを開催し、次郎長の功績と波乱に満ちた74年の生涯を後世に伝えていきます。

## &lt;実施内容&gt;

- ①清水次郎長に関する調査・研究・研究成果の取りまとめ
- ②研究成果を基に講演会、教室を開催（清水港船宿記念館「末廣」、梅陰寺）
- ③研究成果を基にパネルを作成
- ④パネル展の開催（歴史博物館）

## &lt;スケジュール&gt;

## 令和8年度

8月～2月 ふるさと応援寄附金募集

## 令和9年度

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 年 間    | 清水次郎長に関する調査・研究・成果の取りまとめ |
| 4月～12月 | 展示用パネル作成                |
| 6月     | 講演会（梅陰禅寺）               |
| 11月～1月 | 次郎長講談、教室（清水港船宿記念館「末廣」）  |
| 2月～3月  | パネル展（歴史博物館）1F           |
| 3月末    | 実績報告                    |

## 令和10年度以降

上記事業とともに清水次郎長を紹介する動画を作成し、教室やイベントなどで活用していく。

## 5 目指すところ

私たちは、このプロジェクトを通して、次の3点を実現することを目指します。

- ①清水次郎長の功績や人生を明らかにし、このままでは忘れられてしまう歴史的事実を後世に伝えること。
- ②市民の皆さんに、この地に希代の英雄がいたこと、そして自分たちのまちがその人の努力によって創られたことを知ってもらい、自分たちの育ったまちを誇りに思うこと。
- ③市民の皆さんに清水次郎長を「静岡市の偉人」として認識してもらうこと。

そして将来、清水次郎長を若い人たちにも受け入れられる新しいまちのアイコンとしていきたいと考えています。そのため、次郎長通り商店会や地域づくりサポートネット、次郎長生家を活かすまちづくりの会などの団体と、まちづくり組織「Jirocho spirit」を結成して、次郎長を活かしたまちの活性化に取り組んでいます。

また、創作作品にも次郎長や次郎長一家をモチーフにしたとされるキャラクターが登場するなど、清水次郎長は現代のポップカルチャーにも影響を与えているとされます。次郎長の研究とその成果をわかりやすく伝えるなかで、このような現代とのつながりも新たな観光資源として活用していきたいと考えています。

## 6 寄附の使い道

清水次郎長の功績や人生を明らかにし、後世に伝えるための経費として使用します。

- ①清水次郎長に関する調査・研究のための旅費、消耗品費など
- ②展示用パネル作成費
- ③講演会、講談、教室のための謝金、会場費、消耗品費など
- ④広報にかかる諸経費（チラシ印刷費）
- ⑤返礼品にかかる経費（消耗品費、送料）

## 7 目標金額

600,000円

## 8 ネクストゴールの設定

ネクストゴール設定額：1,000,000円

ネクストゴール設定時の事業計画

清水次郎長を紹介する動画を1年前倒しして作成します。

## 9 目標金額に満たない場合

調査研究やその成果を基にした講演会、教室の開催を優先して行い、パネル作成を内製化するなど、趣旨を変えずに規模を縮小して実施していきます。

## 10 広報計画

### 【会員向け】

- ・会報と併せて寄付依頼文を会員へ発送
- ・次郎長翁を知る会WEBページでの寄付依頼の告知
- ・咸臨丸子孫の会などの交流団体への寄付募集の告知

### 【一般向け】

- ・するが企画観光局WEBサイトでの寄付募集の告知
- ・観光案内所、清水港船宿記念館「末廣」での寄付募集ポスターの掲示、チラシ配架
- ・東海道御宿場印販売所、駿府城公園での寄付募集ポスターの掲示、チラシ配架



次郎長翁を知る会の紹介資料イメージ（武将印「清水次郎長」）

## 収 支 予 算 書

団体名：次郎長翁を知る会

| 収入              |    |       | 千円     |
|-----------------|----|-------|--------|
|                 | 科目 | 内容・数量 | 金額     |
| ふるさと寄附金<br>自己資金 |    |       | 600 千円 |
|                 |    |       | 69 千円  |
| 合 計             |    |       | 669 千円 |

| 支出    |       |                                      | 千円     |
|-------|-------|--------------------------------------|--------|
|       | 科目    | 内容・数量                                | 金額     |
| 事 業 費 | 旅費    | 清水－東京（往復）2 人×2 回<br>清水－浜松（往復）2 人×2 回 | 68 千円  |
|       | 消耗品費  | 用紙、プリンターインク、封筒<br>文房具、返礼品（次郎長印）      | 80 千円  |
|       | 委託料   | パネル作成 30 千円×5 枚                      | 165 千円 |
|       | 印刷製本費 | チラシ 4 回                              | 100 千円 |
|       | 報償費   | 講談 100 千円×1 回<br>講演会 10 千円×3 回       | 130 千円 |
|       | 賃借料   | 会場借り上げ料                              | 40 千円  |
|       | 通信運搬費 | 次郎長翁を知る会紹介資料郵<br>送料 50 通             | 6 千円   |
| そ の 他 | 手数料相当 | 12%＋税                                | 80 千円  |
| 合 計   |       |                                      | 669 千円 |